

# FAST FACTS

United Nations  
Development Programme



Empowered lives.  
Resilient nations.

## 国連開発計画(UNDP)と ジェンダー平等

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進は、国連開発計画(UNDP)の使命であり、持続可能な人間開発を目指す中心的な活動です。ジェンダー平等は、人権の中核をなし、ミレニアム開発目標(MDGs)達成と持続可能な人間開発の実現にも不可欠です。女性は、自らの生活を形作る開発プロセスのリーダーであり、変革の主体です。ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを推進することで、より包摂的、持続的、強靱な世界を実現できるとUNDPは考えます。

ジェンダー平等の推進により、女性や女子の生活が改善されるだけでなく、家庭、コミュニティ、さらに国全体の未来への展望を開くことができます。またジェンダーの不平等が是正されれば、子どもの就学率や家族の健康状態が改善し、農業の生産性向上と収入増加にもつながります。UNDPは、ポスト2015開発アジェンダの下でもジェンダー平等や女性のエンパワーメントに対する取組みが確実に実行されるよう、国連システム内外の世界中のパートナーと密接に協力しています。

UNDPは、『UNDP戦略計画2014-2017』の下、以下の3分野における活動を通じて、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに取り組んでいます。

### 1. 持続可能な開発プロセス

女性の社会参加の実現と平等な権利と機会の確保は、包摂的かつ持続可能な成長を達成し、貧困の削減を推進するうえで極めて重要です。特に、貧困層や農村部の女性は、周囲の環境が生計に深く結びついているため、知識と経験を活かし、包摂的な環境政策の策定に主導的役割を果たすことができます。UNDPは、以下の支援を各国のパートナーに提供しています。

- 女性の経済的エンパワーメントを阻む要因の除去と根絶に取り組む。この取組みには、女性の無償ケア労働(食事の支度や洗濯等の家事、育児、老人や病人の介護等)への取組み、ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)、そして資金や生産資源への平等なアクセスなどの推進を含む。

### 主要事実

- 慢性的飢餓状態で暮らす人口のうち、60%は女性や女子が占めています。
- 世界の国会議員に女性が占める割合は、わずか21.4%に過ぎません。
- サハラ以南アフリカと南アジアの女性が従事する仕事の80%は、非公式経済です。
- 世界中の女性の10人に3人は、配偶者やパートナーによる身体的・性的暴力を経験しています。
- 一部の国・地域では改善が見受けられるものの、未だに1日約800人の女性が妊娠中及び出産時に予防可能な原因で亡くなっています。

- 女性と男性双方の経済活動を促進するために社会保障政策にジェンダーへの配慮を取り入れる。
- 天然資源管理のための仕組みや意思決定プロセスへの女性の関与を強化する。
- 生態系資源に対する女性のアクセス、オーナーシップ、持続可能な資源管理への関与の拡大を支援する。これには気候変動ファイナンスを通じた取組みも含まれる。

### 2. 包摂的で効果的なガバナンス・システム

包摂的かつ効果的なガバナンスを実現するため、女性も男性と同様にガバナンスの制度と過程に参加し、社会サービスを楽しむ必要があります。UNDPは、各国のパートナーに以下の支援を実施しています。

- 投票者・立候補者としての女性の政治参加を推進し、制憲議会、国会、行政、司法で活躍する女性の数を増やす。
- 女性の権利保全及び司法へのアクセスを強化する。
- 地方行政サービスの優先付けとその提供に関する意思決定プロセスに女性が平等に関与できるようにする。また、保健や治安サービスに女性がアクセスしやすいように取り組む。

- 性的暴力やジェンダーに基づく暴力の予防と対処のために、国家の能力を強化し、被害者のための支援サービスと司法へのアクセスを充実させる。

### 3. 危機からの強靱な回復力の構築

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントは、強靱な社会・国を構築していく上で不可欠な要素です。危機により荒廃がもたらされる一方、危機後の復興期間は、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを促進させ、より包括的なガバナンス機構の構築と社会変革を実現させるまたとない機会ともなります。UNDP は、以下の支援を各国のパートナーに提供しています。

- 紛争の予防、緩和、調停、平和構築等に関わる政策決定過程において、女性の平等な参加促進とリーダーシップ強化を推進する。
- 気候変動への適応、緩和と災害リスク削減等に関わる政策決定において、女性の平等な参加促進を支援する。
- 災害および気候変動のリスク削減に関する政策や計画において、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを主流化する。
- 地方開発、雇用創出、紛争・災害後の緊急支援および社会再統合プログラムを実施する際には、女性が平等に参画し、成果を享受できるように取り組む。

### UNDP の組織変革

UNDP は、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを達成する為には、自らの活動の実施に際し組織文化を変える必要があると考えています。UNDP は、内部から変革に着手し、職務内容及びレベルの如何を問わず、職員の男女比が等しくなるよう、また、職場においても開発プログラムの実施に際しても、男女双方のニーズに応えるよう取り組んでいます。UNDP は、職場と開発プログラムにおいて、ジェンダー平等の進捗状況を把握するための説明責任の仕組みを整えています。

UNDP はまた、ジェンダー・マーカーを初めて導入した組織でもあります。ジェンダー・マーカーとは、ジェンダー平等に寄与した案件と支出額を記録するツールで、国連事務総長からも評価されています。現在では、UNDP の取組みは他の国連機関にとって模範例となっています。また UNDP は、ジェンダー主流化のための能力と説明責任の向上のため、模範的な活動を評価する制度を導入し、ジェンダー平等の成果を挙げた UNDP の事務所や部署を金・銀・銅で表彰しています。

### UNDP の活動例

- UNDP はベトナムにおいて、能力強化やアドボカシーを支援し、災害リスクの管理・意思決定に参画する女性や女子の増加に貢献しました。また、UNDP は 6,000 のコミュニティ・村落を対象に「地域密着型災害リスク管理プログラム」を実施し、350 人の女性指導者を育成しました。
- UNDP はブルンジにおいて、他のパートナーと共同で、ジェンダーに基づく暴力の被害者に対し、医療・心理ケア及び法的支援を一元的に提供する窓口を設置しました。
- UNDP はアゼルバイジャンにおいて、労働力調査を支援しました。性別データと雇用状況に関するジェンダー統計が整備されたことにより、政府が公正な政治判断を下すための基盤が整いました。
- UNDP はエルサルバドルにおいて、国政/地方選挙時の候補者の 30%以上を女性に割り当てると定めた「クオータ制」の法律策定のために、女性国会議員グループを支援しました。
- UNDP はセネガルにおいて、地球環境ファシリティ (GEF) の資金協力を受け、女性を対象としたマングローブの植林・育成手法の研修を実施し、プロジェクトに参加した女性は、新たな収入源を得たばかりでなく、同国北部における 2,000 ヘクタール以上のマングローブ林の再生に、重要な役割を果たすことができました。
- UNDP はカンボジアにおいて、政府、市民社会ネットワーク、そして HIV 陽性者・エイズ患者の女性や女子のネットワークに対し支援を提供しました。新たに策定された「女性に対する暴力に関する国家行動計画」は、性産業従事者を含む HIV 陽性者・エイズ患者の女性や女子の被害に特別に配慮した内容となっています。
- UNDP はエジプトにおいて UN Women (ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関) と共同で、「女性の市民権イニシアチブ」を支援しています。同イニシアチブは、身分証の発給を通じ、女性の投票、政党加入、財産権や証書にかかわる法的手続きを支援するものです。

詳細に関するお問い合わせ:

[www.undp.org/](http://www.undp.org/)

United Nations Development Programme

304 East 45th Street

New York, NY 10017 USA

<http://www.jp.undp.org/>

国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所

150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70

UNハウス8F

電話: 03-5467-4751



2014年3月

Empowered lives.  
Resilient nations.